☆脇高祭の準備で苦労したことは?
○オープニングパフォーマンスの練習やダンボールの貼り付け
○補習や塾、部活等等でメンバー全員がそろわなかったり、みんなの意見がなかなか一致しなかった点で苦労したと思います。
☆脇高祭の準備で楽しかったことは?
○実行委員みんなと必死に協力しあってできたこと
○みんなで飾りを作って飾る作業、パンフレット作り、オープニング・クロージングセレモニーの練習です。
☆脇高祭が終わって感じたことは?
○最高に盛り上がってほんまに良かった!めっちゃ良い仲間に出会えてよかった!
○「寂しい」の一言(笑)でもやりきった感じがあって、後悔はないです。
☆実行委員になってよかったことは?
○つらくても仲間がいれば乗り越えれると気づかせてくれたこと
○色んな子と関われて、みんなと今まで以上に仲良くなれたことです。
☆来年はどんな脇高祭にしてほしいですか?
○今年をさらに超えてほしい!!!!!
○メリハリをつけてなおかつみんなが楽しいと思える脇高祭にしてほしいです。とにかく後悔しないように楽しんでください!
☆実行委員になろうと思ったきっかけは?
○去年の脇高祭を見てこれをさらに超えてみんなに楽しんでほしいと思った。
○一、二年生の時もやっていて楽しかったから
☆今年の脇高祭、自分で点数をつけるとしたら何点ですか?
○正直100点!!
○満点です^^
良い脇高祭をありがとう

～大塚コラム～

あの激闘から、早くも一週間が経つ。足腰が痛くなり、指がほとんど動かない状態での闘いだった。戦争といってもおかしくはない。そういう過酷な日々であった。文化祭終了後、体重を量ってみると二キロ落ちていた。これは、俺の汗と涙とため息の成果だと思う。

俺は入学してずっとギターに魂を注いできた。何を勘違いしたのか、モテると思ったからだ。しかし、２年生になると同時に、別にギターが弾けるからといって特にモテるわけでもないと悟った。それからの俺のモチベーションの劇的な低下は言うまでもない。

オープニングの曲が弾けるようになったのが二日前という悲惨。無事、成功したので良かった。今思うと、あのときの俺には神が降りてきたと思う。オープニング前、激しい動悸と目まいに襲われ「俺、大丈夫か?大丈夫なのか?逃げちゃダメだ。逃げちゃダメだ。」の精神状態でかなり不安定だった。しかし、これを乗り越えたら自分に自信が持てる。そう、自分に思い込ませ強い意志を持って臨んだ。この激闘から確信したことは、どんな絶望的な状況であっても諦めなければ、成功するということだ。

～編集後記～

今回の新聞作成は、細部にまでこだわったので、大変なこともありましたが、自分たちが満足できるような新聞に仕上がったと思います。また今回の作成から一年生も参加し、部員全員で作成にあたりました。写真部の活動として写真も多く掲載しています。

写真の撮影や、インタビューなど、様々なご協力ありがとうございました。

写真新聞部一同